



PatientViewの独自調査:
「2023年および2024年における製薬業界の企業評価
—患者の視点から」

PATIENTVIEW による新たな分析

「2023年製薬業界の企業評価」

製薬業界に対する患者団体の認識が急速な変化を遂げた理由

患者団体の概要

お問い合わせ : Alex Wyke

電話番号 : +44 (0)7786 126686

Email : report@patientview.com

PatientViewは、13年間にわたり患者団体を対象にした製薬会社の企業評価に関する意見調査を実施しており、その結果を「製薬業界の企業評価」レポートとして発表しています。例年通り、世界中に公開された2023年のレポートでは、現在、患者団体が製薬業界全体および特定の製薬会社の対応をどのように認識しているかを示す、最新の見解を掲載しています。PatientViewは2023年の結果を分析するにあたり、過去の「企業評価」調査で蓄積された豊富な履歴データを活用して、10年以上にわたる製薬企業と患者団体の関係性の変化を分析しました。

2023年グローバルレポートは、2023年11月から2024年2月下旬までに106カ国から2,518の患者団体を対象に行われた調査の結果を総括したものです。

さらに2023年グローバルレポートには、PatientViewが依頼した多くの製薬会社（または特定の部門）からの意見も含まれており、製薬業界と患者団体の関係性についての見解も掲載されています：

・バイエル・ベリンガーインゲルハイム・ギリアド・サイエンシズ・ノバルティス・ノボ・ノルディスクファーマ株式会社（肥満症部門）・ファイザー・ファイザー（免疫および炎症部門）・ヴィーブヘルスケア

本ドキュメントの内容

1. 2014年以降の製薬会社に対する患者団体の認識はどのように変化したのか。
2. 2014年以降の患者団体と製薬会社の関係性の範囲はどのように変化したのか。
3. 2014年以降の患者団体と製薬会社の関係性の質はどのように変化したのか。
4. 製薬会社はどのように患者団体の意見を反映させ改善を図るのか。

1. 2014年以降、製薬会社に対する患者団体の認識は改善しているが、一部の指標では持続性の欠如を示唆している

製薬業界の企業評価を「優れている」または「良い」とみなす患者団体の割合は、2014年の33%から2023年には57%へと、ここ数年で著しく上昇しています。しかしながら、添付の図で示されているように、すべてが上昇しているわけではありません。2023年では、2016年から2018年の流れと同様に、前年まで上昇していた評価が停滞しています。2023年の場合、「コロナウィルスの後押し」による、製薬会社への好意的な評価が消えつつあることが考えられます。

2014～2023年における製薬業界の企業評価

「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合



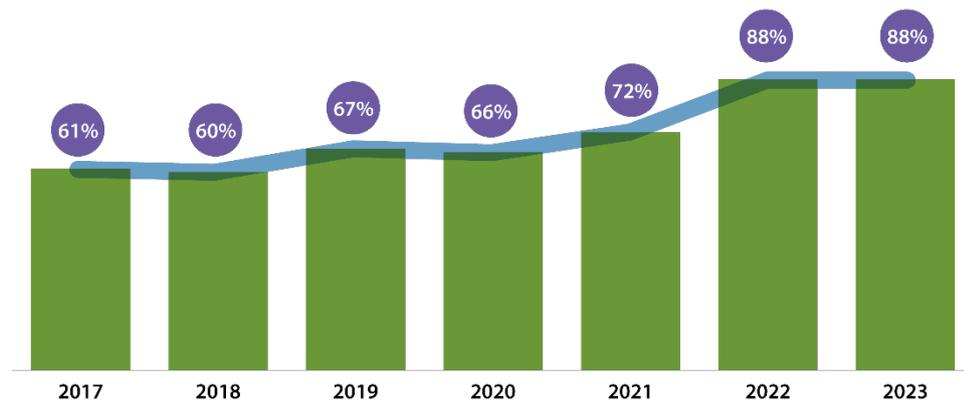
今後数年間、2021年、2022年、2023年で更新した記録的な評価が維持されるとしても、10人中4人の患者団体が製薬業界の企業評価に対して「複雑」あるいは「悪い」と評価しているため、多少なりとも課題が残っていると言えます。

2. 製薬業界に対して、このように相反する意見が存在するにもかかわらず、患者団体と製薬会社は、その関係性の範囲を顕著に拡大している

2017年から2023年にかけては、患者団体と製薬会社の双方が協力する頻度が増えました。2017年には、患者団体の61%が、少なくとも1つの製薬会社と協力関係にあるか、何らかの関りをもってると報告されています。最新の「企業評価」調査によると、2023年にはこの割合が88%に上昇したことが示されています。

2017～2023 年における製薬業界と協力関係にある患者団体の上昇率

少なくとも 1 つの製薬会社と協力関係にあると回答した患者団体の割合 (年ごと)



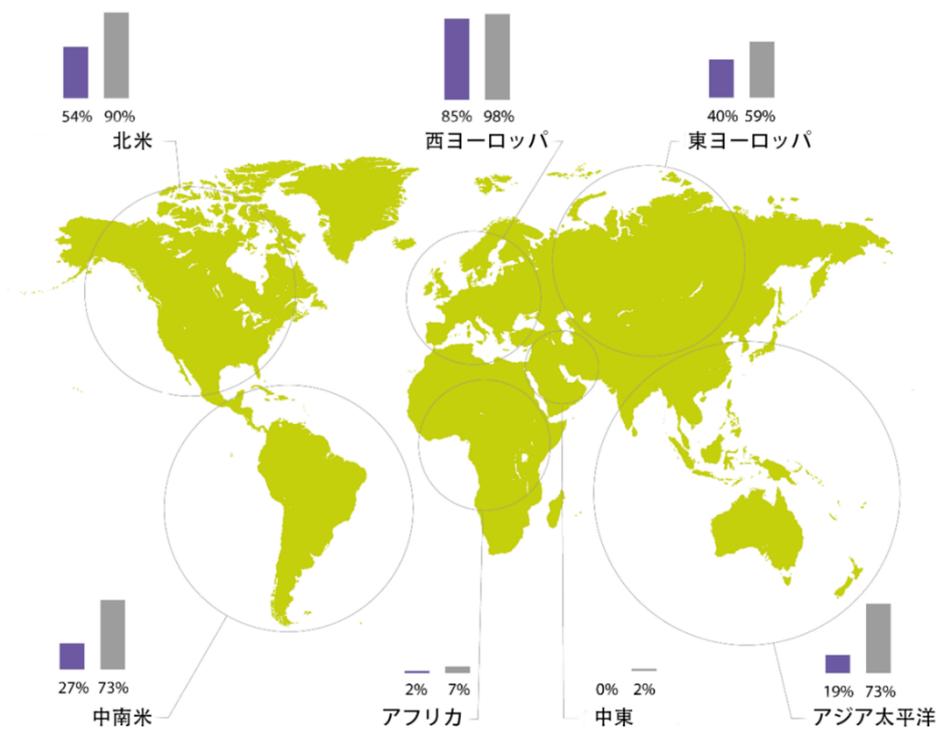
その一方で、製薬会社も多くの患者団体とのパートナーシップに取り組んでいます。2023 年における 3 つの例をあげます：同年の「企業評価」調査に回答した患者団体のうち、ノバルティスと協力関係にあると報告したのは 882 団体、ファイザーでは 977 団体、ロシュでは 950 団体となり、2016 年の同調査におけるそれぞれの 395 団体、329 団体、316 団体から増加しました。

製薬会社と患者団体の関係は、先進国や新興国市場を含む広範囲の地域に拡大しました。2023 年に回答した患者団体によると、「企業評価」調査で評価された製薬会社の多くは、世界のすべての地域（アフリカと中東を除く）で、少なくとも 10 以上の患者団体と協力関係にあります。

2016 年 vs 2023 年 製薬企業と患者団体の協力関係の地理的な広がり

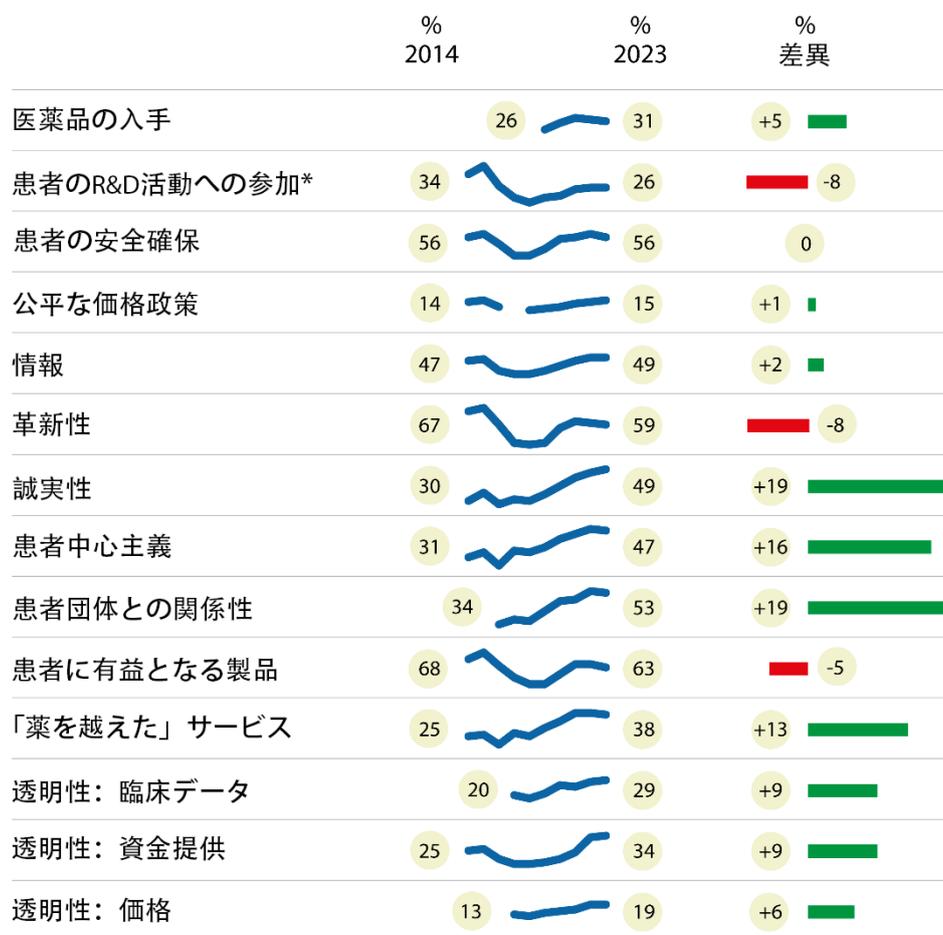
10以上の患者団体とパートナーシップを結んでいる製薬会社の割合 (地域別)





3. これらの企業と患者団体との関係性の質や範囲は向上しつつも、依然として形式だけの関係も存在する

2014~2023 年で患者および患者団体にとって重要な活動に関して、製薬業界を「優れている」または「良い」と回答した患者団体の割合



*2014～2021年、質問：「臨床試験への参加」

2023年に回答した患者団体の53%は、製薬業界と患者団体の関係性について「優れている」または「良い」と回答しており、2014年の34%に比べて増加しているのが分かります。一方、2023年に回答した患者団体の47%が、製薬業界は患者中心主義であるかという質問に対して「優れている」または「良い」と回答しており、2014年の31%に比べて増加しています。

このような全体的な向上に伴って、企業と患者団体の関係性も成熟しつつあります。例えば、2023年、プロジェクト共創を含む製薬企業との関係について前向きに回答した患者団体は2017年の2倍以上になりました（2023年では37%、2017年では16%）。同様に、2023年に回答した患者団体の44%は、企業パートナーが患者にとって価値ある情報を提供していると回答しており、2017年の23%から増加しています。

もちろん、このように肯定的なデータが存在するにもかかわらず、10年経った今でも製薬会社が改善できていない分野があることを忘れてはいけません。最も注目すべき2つのトピックは、透明性と薬価ですが、2023年に回答した患者団体はこの点に関して多くの不満を示しました（ある回答者は、企業とのやりとりが「建前」だけの形式的なものだと指摘していました）。

「行動力があり具体的な方法を導入する企業とは、長期的な関係が維持でき、良好な[パートナーシップ]を構築できます。しかし、保健当局へ提出する書類を取り扱う業務に資格のない人

材を雇うような企業は信頼できず、継続的な関係の構築を妨げます。」

-フランス国内がん患者団体

「多くの[企業]が、電話や会議で私たちの時間を浪費していますが、そのような時間を費やしても、患者組織と患者の転帰を向上させるような関係性を構築することはできません。」

-オーストラリア国内アレルギー、呼吸器疾患患者団体

4. 現在、患者団体が最優先する3つの事項：薬価、医薬品の入手可能性、研究開発（R&D）活動への患者参加の推進

2023年の「企業評価」調査に回答した患者団体の多くは、製薬業界全般、特に製薬会社に対して、3つの分野で改善が必要であると回答しています。

▶**薬価**：2023年に回答した患者団体で、製薬業界の薬価基準が「優れている」または「良い」と回答したのはわずか15%でした。近年、製薬業界はより少数の患者を対象とした薬の開発に注力していますが、その結果、治療薬の価格が高騰し、個々の患者にとって経済的に手が届かないものになっています（一部の医療制度も例外ではない）。

▶**医薬品の入手可能性**：患者が医薬品を入手できるかを決定するうえで、価格設定が重要な要素であることはよく知られていますが、同時に、医薬品が市場で実際に入手可能であるかということも必要な要素の一つです。しかしながら、2023年、世界中（多くの治療分野同様）のさまざまな地域で在庫不足が増加していることが浮彫りになっており、2023年の「企業評価」調査に回答した患者団体の54%が、患者の医薬品入手における現状が不公平であると回答しています。回答した患者団体の中には、既存の治療薬（例：糖尿病患者の薬）が別の一般的な疾患（肥満など）の治療薬として承認されたにも関わらず、これらの薬を増産しなかったことが、2023年の供給問題を悪化させたと主張する回答もありました。

▶**患者の研究開発（R&D）への患者参加**：2023年に回答した患者団体のうち、研究開発（R&D）への患者団体の参加について製薬業界を「優れている」または「良い」と評価したのはわずか26%でした。特に批判として挙げられているのは、臨床研究における、参加者の多様性（例：年齢、民族、性別、地域）の欠如です。

「製薬会社が、[医薬品の在庫不足]の理由と、その不足を解決するために講じている措置を明確に伝えなければ、患者には知るすべがありません。」

-カナダ国内神経疾患患者団体

「全体的に、多くの企業が自社の戦略は患者第一主義であると主張していますが、それは書面上の発言にとどまっており、企業内の他部署にはその戦略が正確に伝わっていません。R&Dへの患者参加も公言していますが、実際には第Ⅲ相試験などで3時間程度の『患者詰問委員会』を行っているだけかもしれません。」

-オランダの国際心血管疾患患者団体

PatientViewは、2023年「製薬業界の企業評価」調査にご回答いただいた患者団体、健康啓発活動家、業界関係者の皆様に、お礼を申し上げます。

PatientViewの2023年グローバルレポート「製薬業界の企業評価」の取得方法の詳細については、メールでお問い合わせください：report@patient-view.com

PatientViewが提供する、患者団体の活動を支援するその他のリソースについては、こちらをご覧ください：

<https://www.patient-view.com/patient-resources/>

PatientView について：



2000年の設立以来、英国を拠点とする PatientView は、さまざまな問題に対する世界中の患者団体の見解の違いについて、エビデンスに基づいた調査を定期的に行っています。PatientView は、独自の方法で患者団体と関わっており、40,000もの患者組織がインフォーマルネットワークで繋がっています。本調査に関する詳細はこちらからご覧ください：

<https://www.patient-view.com/>

PatientView Ltd

登録オフィス：One Fleet Place, London, EC4M 7WS, 英国

電話：+44-(0)1547-520-965

電子メール : [report @ patient-view.com](mailto:report@patient-view.com)

登録地 : 英国、番号 : 3944382

データ保護登録番号 : Z7133076

VAT 登録番号 : GB-760-985-885